

青雲の翼 第二号

タンプリング練習開始！！ 体育祭に向けて頑張っています。

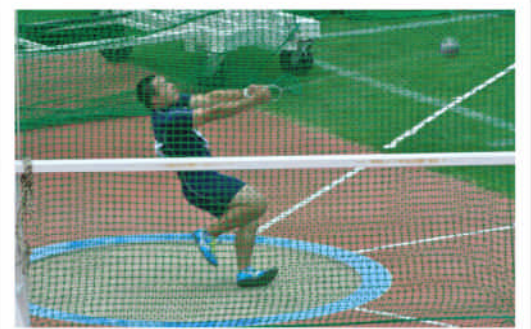


9月10日の体育祭に向けて、タンプリングの練習が開始されました。慣れない組体操に1年生は手こずっていますが、上級生の丁寧な指導で少しずつできるようになっています。本番にご期待ください。



カッター部 全国大会出場決定

7月5日に九州地区水産系高等学校カッター競技大会が宮崎市で実施されました。本校は決勝戦で2位に勝ち上がり、長年の悲願である全国大会への切符を手にしました。1年生の多いチームですが、全員が一丸となって練習してきた成果があらわれたのだと思います。全国大会の会場は青森県の八戸市です。悔いの無いように全力で臨み、優勝を勝ち取ってほしいものです。



青雲寮生2年連続インターハイ出場決定

6月16日(木)～19日(日)に宮崎県KIRISHIMAハイビスカス陸上競技場で開催された全国高校陸上南九州地区(鹿児島・宮崎・熊本・沖縄)予選大会において、本校海洋科栽培工芸コース3年宮原大河君が男子ハンマー投で3位に入賞し、7月29日(金)より岡山県シティライオスタジアムで開催される第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(インターハイ)への出場が決定致しました。南薩地区の高等学校においては陸上で唯一のインターハイ出場、本校陸上部として青雲寮生としては昨年同種目で出場しました初代ハンマースローワー・山元太輝さん(H28青雲寮卒寮)に続き、2年連続インターハイ出場の快挙となりました。

昨秋の九州新人大会で3回ファウル(記録なし)に終わった反省を生かし、冬場から「ファウルしない投げ」を創り上げてきたという二代目・宮原君。今回の南九州地区予選大会では、1回目から自己記録に近い距離を投てきし、2回目には初の50m台となる50m45cmを記録。その後も47mと50mの自己記録に近い距離を投てきし、終わって見れば6回全てファウルのない安定した投てきを披露してくれました。

宮原君は「インターハイ出場権がかかる」6位以内を目指しては力を発揮しきれない思い、優勝を狙って試合に臨みました。昨年から競い合ってきたライバル達に負けたことは悔しいですが、九州新人の失敗を克服してインターハイへの道が拓けたことは素直に嬉しいです。」と語ってくれました。成田智春監督は「打点の高さやリーチが有利に働く投てき競技において、体格に恵まれていない彼がインターハイを決めたことは非常に意義のあることだと思います。彼のハンマー投の技術レベルは高く、これだけの動きができる高校生は全国的に見てもそうそう多くはないのではないかと思います。インターハイでは周囲の目を引くようなテクニカルかつスピード感のある投げをしてほしいです。」と語ってくれました。

インターハイでは、先輩である初代・山元さんのベスト記録(52m27)を超えることが目標とのこと。二代目ハンマースローワーの檜舞台での健闘を期待します。